

■当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	無期限 (信託約款所定の信託終了事由が生じた場合に償還されることがあります。)
運用方針	個人家計の「資産形成」を支援する目的で、「期待収益率が高い」と思われる資産に積極投資をします。
主要運用対象	主として国内外の有価証券に投資する投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	①「株式」に投資します。 ②「グローバル」な視点で投資します。 ③運用は「ファンド・オブ・ファンズ」形式で行います。 ④実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します。 ⑤株価が割高と思われるときには、現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます。
組入制限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。ただし、当該投資信託証券が一般社団法人投資信託協会規則に定めるエクスポージャーがリスクスルーできる場合に該当しないときは、当該投資信託証券への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への投資には制限を設けません。 ④株式への直接投資は行いません。 ⑤デリバティブの直接利用は行いません。 ⑥一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。
分配方針	毎決算時、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、投資環境や市況動向等を勘案して決定します(分配を行わないことがあります。)。当ファンドは分配金再投資専用であるため、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。

『ユニオンファンド』

運用報告書(全体版)

第16期(決算日2024年9月30日)

作成対象期間(2023年10月3日~2024年9月30日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび「ユニオンファンド」は、第16期決算を迎えました。ここに期中の運用状況等についてご報告申し上げます。

当ファンドは、2008年のリーマンショックの荒波の中で運用がスタートし、以来、信じてお金を託していただいているお客様と、成長を続ける世界の企業と共に、さまざまな危機を乗り越えて今日に至っています。新型コロナウイルス感染症で急激に落ち込んだ世界の景気は大きく持ち直し、それに続いて始まったインフレと金融引き締めによる株価下落からも立ち直りました。今後も「よりよい社会にしたい」という人間の強い願いと行動によって、世界経済は成長を続けていくものと確信しています。

皆様からお預かりした大切なご資金は、選び抜いたファンドを通じて世界中の選び抜かれた企業に投資しています。皆様の資産形成のお役に立てるよう邁進してまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

あなたと大切な方の未来のために

ユニオン投信 Union Asset Management

〒390-0815

長野県松本市深志一丁目1番21号
中田歯科ビル5F

本書の記載内容等に関するお問い合わせ先

ユニオン投信株式会社 業務管理部

電話番号：0263-38-0725

受付時間：午前9時~午後5時

(土日祝日、年末年始を除きます。)

ホームページ：<http://www.unionam.co.jp/>

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券 組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率		
	円	円	%	%	百万円
12期 (2020年9月30日)	24,307	0	4.9	88.6	7,654
13期 (2021年9月30日)	30,215	0	24.3	86.2	9,707
14期 (2022年9月30日)	28,554	0	△ 5.5	85.1	9,814
15期 (2023年10月2日)	33,760	0	18.2	85.8	11,941
16期 (2024年9月30日)	38,518	0	14.1	86.8	13,981

(注1) 基準価額(分配落)、税込分配金は1万円当たり、期中騰落率は前期末比で表示しています。

(注2) 期中騰落率、組入比率は小数第2位四捨五入で、純資産総額は単位未満切捨てで表示しています。

(注3) 当ファンドは、主に国内外の株式に投資する投資信託証券に分散投資していますが、比較できる適切な指数が存在しないため、ベンチマークを設けておらず、参考指数もありません。よって上表に併記していません。

■当期中の基準価額等の推移

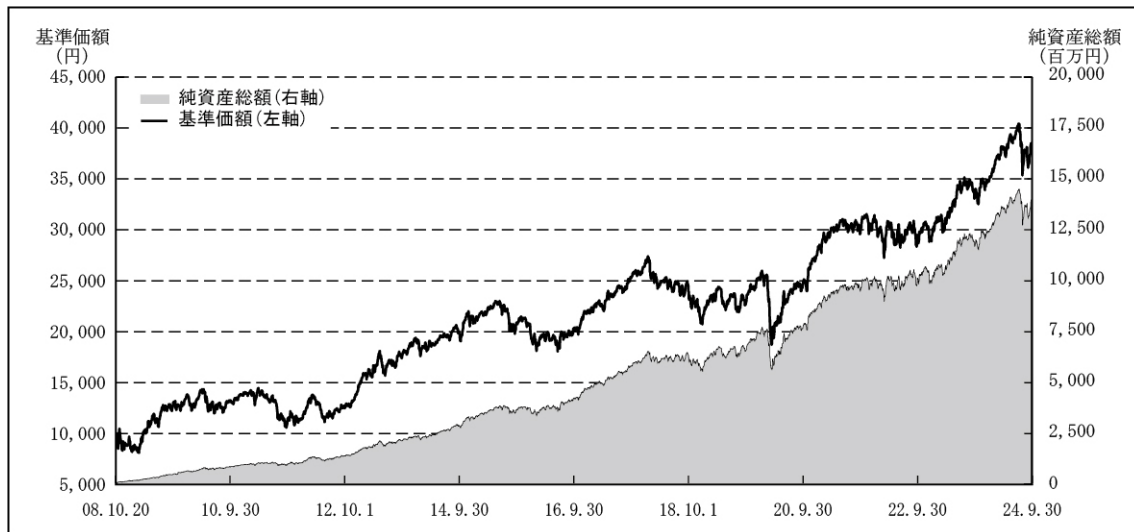
年月日	基準価額		投資信託証券 組入比率	純資産総額
	騰落率			
(期首)	円	%	%	百万円
2023年10月2日	33,760	—	85.8	11,941
10月末	32,499	△ 3.7	85.1	11,523
11月末	34,528	2.3	85.6	12,296
12月末	34,905	3.4	85.8	12,442
2024年1月末	35,963	6.5	86.2	12,830
2月末	37,280	10.4	86.6	13,325
3月末	38,102	12.9	87.1	13,597
4月末	37,903	12.3	87.0	13,548
5月末	38,631	14.4	87.2	13,827
6月末	39,732	17.7	87.4	14,256
7月末	38,494	14.0	86.7	13,867
8月末	37,614	11.4	86.0	13,626
(期末)				
2024年9月30日	38,518	14.1	86.8	13,981

(注1) 基準価額は1万円当たり、騰落率は期首比で表示しています。

(注2) 騰落率、組入比率は小数第2位四捨五入で、純資産総額は単位未満切捨てで表示しています。

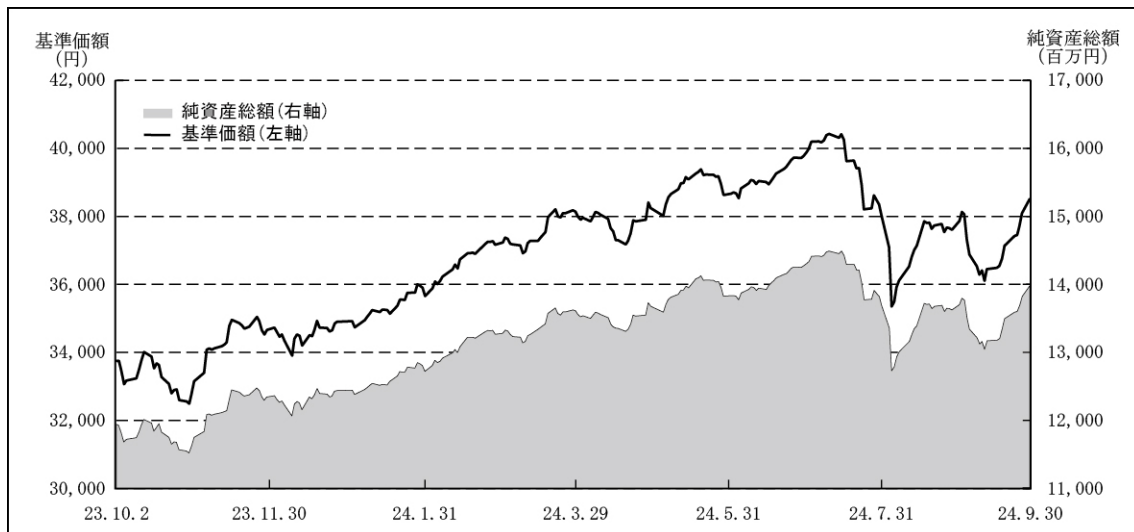
(注3) 当ファンドは、主に国内外の株式に投資する投資信託証券に分散投資していますが、比較できる適切な指数が存在しないため、ベンチマークを設けておらず、参考指数もありません。よって上表に併記していません。

■ 設定以来の基準価額等の推移 (2008年10月20日～2024年9月30日)



(注) 当ファンドは分配を行っていないため、分配金再投資基準価額を表示していません。基準価額がファンド運用の実質的なパフォーマンスを示しています。

■ 当期中の基準価額等の推移 (2023年10月2日～2024年9月30日)



(注) 当ファンドは分配を行っていないため、分配金再投資基準価額を表示していません。基準価額がファンド運用の実質的なパフォーマンスを示しています。

■当期の基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は、期初からほぼ順調に上昇し、7月には期中の最高値（40,435円）をつけました。7月半ば以降はやや波乱含みとなりましたが、期末に向けて回復しました。7月までの上昇は、インフレの沈静化と、それによる金融引き締め終了への期待を受けた世界的な株価上昇と、為替の円安が主な理由でした。コロナ禍によるサプライチェーンの混乱や、景気悪化に対応した大幅な財政支出と金融緩和策は、経済の回復とともに急激なインフレをもたらしましたが、その後の金融引き締め効果やサプライチェーンの混乱解消などから、インフレは沈静化してきました。経済はコロナ禍による大きな混乱期を経て、ようやくほぼ正常化したと言えます。企業業績の順調な拡大もこの間の株価上昇に寄与しました。

7月以降に基準価額が下落したのは、金融引き締め効果で米国景気が後退局面に入ることではないかとの懸念で株価が下落したことに加え、米国金利の低下と日本の金利上昇を背景とした円高によって、外国資産の円評価額が目減りしたためです。

以上の投資環境のもと、組入ファンドはすべて2ケタの値上がりとなりました。ファンド別には、コムジェストEUFが+25.4%、スパークスF+20.8%、キャピタルF+20.5%、さわかみF+16.5%、コムジェストEMF+15.1%、ハリスF+11.2%でした。

(注) 当運用報告書(全体版)では、組入ファンドの名称を以下のとおり省略して記載することがあります。

- ・「さわかみファンド」：さわかみF
- ・「スパークス・集中投資・日本株ファンドS〈適格機関投資家限定〉」：スパークスF
- ・「キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ」：キャピタルF
- ・「ALAMCO ハリス グローバル バリューストック株ファンド 2007 (適格機関投資家専用)」：ハリスF
- ・「コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90 (適格機関投資家限定)」：コムジェストEUF
- ・「コムジェスト・エマージングマーケッツ・ファンド95 (適格機関投資家限定)」：コムジェストEMF

■当期の投資環境

【株式市場の動き】

当期の世界の株式市場は、2023年8月から3か月連続の下落となる中でスタートしましたが、インフレ率の低下とそれによる金融緩和への政策転換、さらには懸念ほど景気が悪化せず企業業績の拡大がおおむね続いたことを背景に、総じて堅調な上昇を続けました。2024年の7月から8月にかけて、やや大きく下落する場面もありましたが、期末に向けては回復基調となり、期首に比べて値上がりで終わりました。

当期は米国株が好調で、世界の株式市場をけん引しました。米国では、インフレ率の低下ピッチを巡る予想が二転三転し、中央銀行にあたるFRB(連邦準備制度理事会)の金融政策についても、高めの金利をかなり長期にわたって継続するとの見方が当初は根強かったものの、インフレ減速が次第に明らかになるにつれて利下げ期待が強まり、長期金利の低下も相まって株価を押し上げ続けました。加えて、生成AI(人工知能)の市場をけん引し、あるいはその恩恵を受けると見られるIT(情報技術)関連企業の業績拡大を好感した買いも活発でした。米国の大手IT関連企業の株価上昇は米国の株価指数を押し上げ、その米国株価指数が世界全体の株価指数を押し上げる、とい

う構図が特に前半は目立ちました。

次に堅調だったのは新興国株でした。新興国はここ数年、先進国の高金利によって投資資金が流出気味で、株価も為替も軟調に推移してきましたが、欧米で利下げ機運が徐々に高まり、長期金利も大きく低下したことから、状況はかなり好転してきました。インドなど高成長が続く国では株価上昇が続いていましたが、米国が政策金利の引き下げを決めたあたりからは、割安に放置されていた市場の多くに活発な買いが入るようになりました。また、期末に中国株が急反発したことも新興国株全体の回復に寄与しました。

欧州株は、ECB（欧州中央銀行）が7月に米国に先んじて利下げを実施したものの、高金利政策の悪影響や、輸出先として重要な中国の消費低迷の影響などから、特に製造業の不振が続き、一部の市場で株価指数が史上最高値を更新したものの全体としてはやや低調でした。前期には株価上昇率が米国を上回りましたが、当期は若干出遅れる1年となりました。

日本株は、当期の前半には米国市場を上回るほど好調な時期もありましたが、7月以降はそれまでの円安が一気に円高に反転したことから、輸出関連株が軟調となり、全体に伸び悩みました。特に8月には、過去最大級の急落となりましたが、この下落は、日銀が予想以上に金融引き締め姿勢を強めたと見られたことや、米国の景気後退懸念などがきっかけでした。加えて、市場内部にたまっていた歪みが一気に解消されたことで、下落率が拡大したと考えられます。市場では、円を借り、その円を売って他の通貨建ての資産を購入する「キャリートレード」と呼ばれる取引が盛んに行われていましたが、日米金利差の縮小予想で円が急上昇したため、損失回避のために巻き戻しが加速しました。投資先だった米国株はもとより、世界的な株価下落要因ともなりました。日本株に限って言えば、積み上がっていた信用買いの評価損が拡大し、買い方が投げ売りを余儀なくされたことも株価下落を加速させました。ただ、株価の急落と為替市場での円急伸を見て、日銀から今後の利上げに慎重なコメントが出され、さらには米国のインフレ率の一層の低下など好材料も見られたことから、次第に安心感が広がり、期末に向けては回復方向をたどりました。

【為替市場の動き】

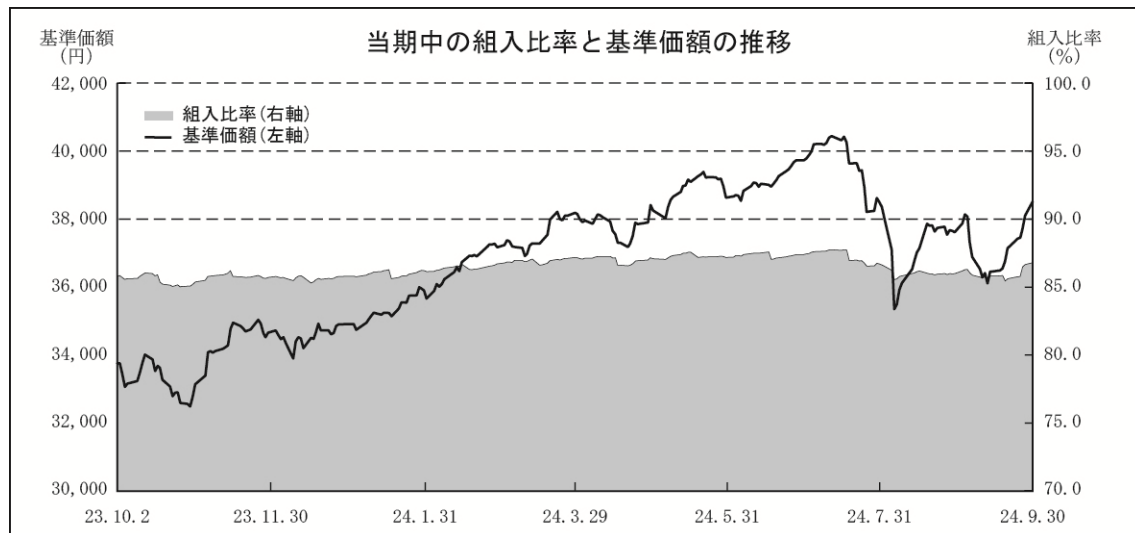
2022年10月以降、ドルは世界の主要通貨に対して軟調に推移していましたが、円相場は日本の低金利政策の継続を背景にさらに弱い動きが続いていました。しかし、2024年7月になって、米国で利下げがいよいよ近づいたとの観測が強まる一方、日本では政策金利の引き上げ予想が高まったことから、円はドルに対して、また他の主要通貨に対しても上昇に転じました。当期のドルは対円で若干の下落となりました。一方、ユーロは円に対しても小幅に上昇しました。新興国通貨は、ドルに対しては小幅高となったものの、円に対しては若干の下落で終わりました。

■当期の運用状況

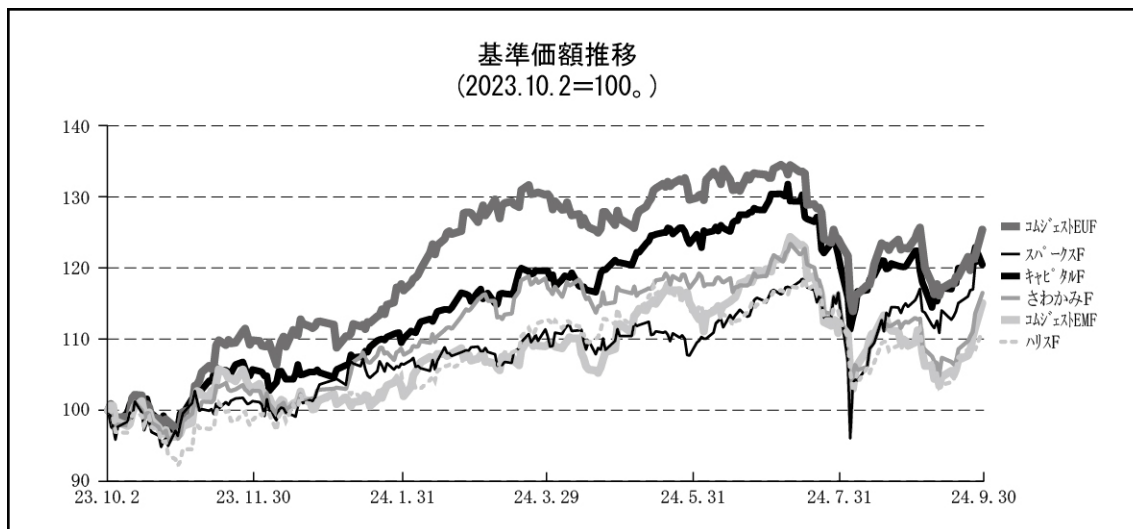
当期は、高金利の長期化による景気悪化の可能性が残っていたことや、米国が利下げを行った場合に円高となって、外貨建て資産の円換算評価額が目減りする可能性があることなどを考慮し、やや慎重なスタンスで臨みました。期末にかけて新興国株に投資するコムジエストEMFの買い増しを行いました。世界経済が低迷する一方で、米国など先進国の高金利が続いたことから、新興国株は相対的なパフォーマンスの悪化が続きましたが、多くの国で政策金利の引き下げが行われるようになり、魅力が増していくと考えたことが買い増しの主な理由です。

以上の結果、全体の組入比率は、期首の85.8%に対し期末は86.8%と、若干上昇しました。組入比率の分子に当たる組入ファンドの評価額が値上がりによって増加した一方、分母に当たる純資産総額もお客様からの着実なご購入で増加し、組入比率はおおむね安定した推移となりました。

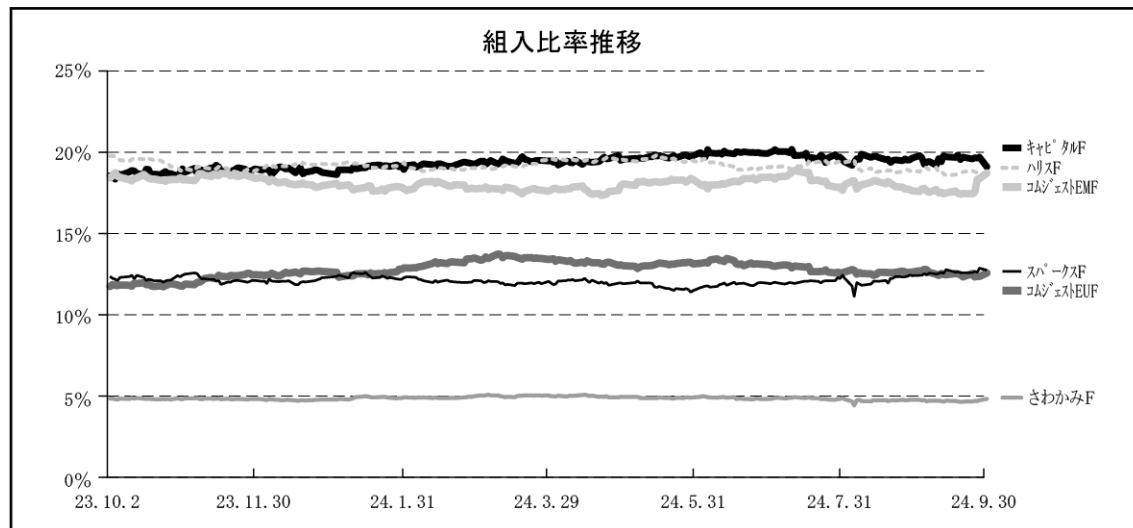
期末のファンド別組入比率は、キャピタルF 19.1%、ハリスF 18.8%、コムジエストEMF 18.7%、スパークスF 12.8%、コムジエストEUF 12.6%、さわかみF 4.8%でした。



【参考情報】当期中の組入ファンドの状況



(注) ハリスFは分配金再投資基準価額で計算しています。



■ベンチマーク

当ファンドは、比較できる適切な指数が存在しないため、運用の目標とするベンチマークを設けておらず、参考指数もありません。

■分配金

基準価額の水準、投資環境、運用の安定等を考慮し、当期は分配を行わないこととしました。

なお、収益分配に充てなかった利益については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（2023年10月3日～2024年9月30日）

（1万口当たり、税込み）

項目		当期
当期分配金	(円)	—
(対基準価額比率)	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	28,518

（注1）対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）金額は、項目ごとに円未満切捨てで表示しています。そのため、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金と一致しないことがあります。

■今後の運用方針

「高金利のままでも景気が大きく悪化することはなく、景気が悪化しなくてもインフレはさらに低下するので金融緩和が可能になる。」これは1年前に少なからぬ市場参加者が描いていた見通しです。こうした見方は楽観的であり、しかも業績水準からみて株価は特に米国で割高であると考えたことから、やや慎重な運用姿勢を継続しました。しかし結果的に上記の楽観見通しは概ねは正しく、途中波乱はあったものの、総じて株価は堅調に推移しました。市況が好調に推移することは、投資する側にとってももちろん大変ありがたいことです。しかし、こうした好ましい状況がいつまで続くかは、常に不透明でもあります。

ロシア・ウクライナ戦争の膠着が続く一方で、2023年10月には中東で新たな紛争が勃発し、その後も激しい対立が続いています。幸いと言ふべきか、世界経済の成長率は低く、特に中国で需要の低迷が続いていることもあって、原油価格の大幅な上昇は避けられています。その中国では不動産不況が依然として深刻な状態にあります。政府と中央銀行が対策を打ち出したことから中国株は大きく上昇しましたが、実体経済に十分なプラス効果がもたらされるかは、まだ楽観できないと考えています。逆に、もし景気が本格的に持ち直すようであれば、石油需要も回復し、石油価格の上昇がインフレを再燃させることになるかもしれません。

さらに、2024年11月の米国大統領選挙は、この報告書を作成している10月初旬の時点で、民主・共和両党のいずれの候補者が勝つか、まったく予想できない接戦となっています。同時に行われる議会選挙の結果もあわせ、米国の経済政策が今後どのようなものになるかも極めて不透明です。

とはいえ、こうした問題が混乱を引き起こすことがあったとしても、世界経済の基盤を根底から覆すことにはならないと考えています。私たちが投資をする際に最も重視しているのは、今の地政学リスクや政治の混迷、あるいは景気の変動ではなく、将来の経済です。それは長期で見れば見るほど、今よりもかなり高い水準に進んでいるだろうと考えています。景気も株価も時に大きく上下に揺れますが、長期の経済成長と企業業績の拡大を背景に、株価は変動を繰り返しつつも上昇を続けていくことでしょう。ファンドの運用者としては、大きな変動にならないか的確に見定めつつ、基準価額の向上に全力を傾けてまいります。

■ 1万口当たりの費用明細 (2023年10月3日～2024年9月30日)

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬 (委託会社) (販売会社) (受託会社)	326 (204) (110) (12)	0.880 (0.550) (0.297) (0.033)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (その他)	3 (3)	0.007 (0.007)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 (各月末の残存受益権口数の単純平均) 金銭信託にかかる手数料等
合計	328	0.887	
期中の平均基準価額は、37,014円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

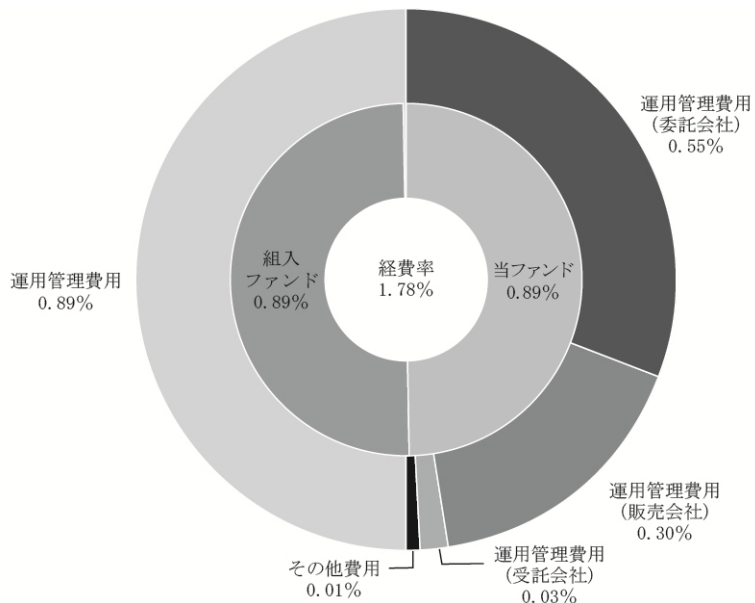
(注2) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期間における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、「組入投資信託証券の運用内容」に表示しています。

(注3) 金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。

(注4) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用の金額を期中の平均基準価額(各月末の基準価額の単純平均)で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第4位四捨五入で表示しています。

【参考情報】経費率（組入ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.78%です。



経費率 (①+②)	1.78%
①当ファンドの費用の比率	0.89%
②組入ファンドの運用管理費用の比率	0.89%

- (注1) ①の費用は、「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。また、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税ならびに当ファンドが組み入れている投資信託証券（組入ファンド）が支払った費用を含みません。
- (注2) ②の費用は、期中の各月末の各組入ファンドの組入比率に、当該組入ファンドの信託報酬率（信託報酬率が変動する場合はその上限の率）を乗じたものの単純平均です。
- (注3) 率および比率は、年率換算した値で、小数第3位四捨五入で表示しています。
- (注4) 当参考情報は、注1から注3までの前提条件をもとに算出したものであるため、あくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。また、組入ファンドには、運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、当参考情報には含まれていません。

■売買および取引の状況（2023年10月3日～2024年9月30日）

投資信託証券

銘柄		当 期			
		買 付		売 付	
		単位数・口数 (千口)	金額 (千円)	単位数・口数 (千口)	金額 (千円)
国内	ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド 2007	119,646	193,445	—	—
	コムジェスト・エマージングマー ケッツ・ファンド 95	67,159	80,000	—	—

(注1) 金額は、受渡代金です。

(注2) 単位未満切捨てで表示しています。

(注3) ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド 2007の買付は、分配金再投資によるものです。

■利害関係人との取引状況等（2023年10月3日～2024年9月30日）

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2023年10月3日～2024年9月30日)

当期における自己取引はありません。

■自社による当ファンドの設定・解約状況（2023年10月3日～2024年9月30日）

期首残高 (元 本) (百万円)	当期設定 元 本 (百万円)	当期解約 元 本 (百万円)	期末残高 (元 本) (百万円)	取引の理由
13	—	—	13	自社財産の運用を目的とした取得等

(注) 単位未満切捨てで表示しています。

■組入資産の明細

ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建投資信託証券の明細

銘柄名	期首 (前期末)	当期末 (2024年9月30日現在)		
	単位数・口数 (千口)	単位数・口数 (千口)	評価額 (千円)	組入比率 (%)
株式ファンド (日本)				
ALAMCO ハリス グローバル バリュー株ファンド 2007	1,432,927	1,552,574	2,626,180	18.8
コムジェスト・エマージングマー ケッツ・ファンド 95	2,042,211	2,109,370	2,618,150	18.7
スパークス・集中投資・日本株 ファンドS	220,655	220,655	1,784,483	12.8
コムジェスト・ヨーロッパ・ファ ンド 90	714,274	714,274	1,759,685	12.6
さわかみファンド	167,139	167,139	676,380	4.8
(ルクセンブルク)				
キャピタル・グループ・グローバル・ エクイティ・ファンド (LUX) クラスZ	353	353	2,672,641	19.1
合 計	4,577,561	4,764,367	12,137,522	86.8
銘柄数	6 銘柄		6 銘柄	

(注1) 単位数・口数、評価額は、単位未満切捨てで表示しています。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

■投資信託財産の構成 (2024年9月30日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額 (千円)	比 率 (%)
投 資 信 託 受 益 証 券	9,464,880	67.4
投 資 証 券	2,672,641	19.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,908,177	13.6
投 資 信 託 財 産 総 額	14,045,698	100.0

(注1) 評価額は単位未満切捨てで、比率は小数第2位四捨五入で表示しています。ただし、コール・ローン等、その他の評価額および比率は、投資信託財産総額から他の項目の合計を差し引いたものです。

(注2) 当期末における外貨建資産はありません。

■資産、負債、元本および基準価額の状況
(2024年9月30日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	14,045,698,000円
コール・ローン等	1,908,175,661
投資信託受益証券(評価額)	9,464,880,822
投資証券(評価額)	2,672,641,517
(B) 負 債	64,169,684
未払解約金	4,297,898
未払信託報酬	59,871,786
(C) 純資産総額(A-B)	13,981,528,316
元 本	3,629,840,450
次期繰越損益金	10,351,687,866
(D) 受益権総口数	3,629,840,450口
1万口当たり基準価額(C/D)	38,518円

(注1) 期首元本額	3,537,093,308円
期中追加設定元本額	316,488,324円
期中一部解約元本額	223,741,182円
(注2) 1口当たり純資産額	3,8518円

■損益の状況
(2023年10月3日～2024年9月30日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	190,490,474円
受 取 配 当 金	190,089,560
受 取 利 息	400,914
(B) 有価証券売買損益	1,559,478,129
売 買 益	1,621,717,537
売 買 損	△62,239,408
(C) 信 託 報 酬 等	△116,016,341
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,633,952,262
(E) 前期繰越損益金	3,689,407,376
(F) 追加信託差損益金	5,028,328,228
(配当等相当額)	(4,494,895,951)
(売買損益相当額)	(533,432,277)
(G) 合 計 (D + E + F)	10,351,687,866
(H) 収 益 分 配 金	0
次期繰越損益金(G+H)	10,351,687,866
追加信託差損益金	5,028,328,228
(配当等相当額)	(4,494,895,951)
(売買損益相当額)	(533,432,277)
分配準備積立金	5,323,359,638
繰 越 損 益 金	0

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価替えによるものを含みます。
- (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 期末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(177,856,294円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(1,456,095,968円)、信託約款に規定される収益調整金(5,028,328,228円)および分配準備積立金(3,689,407,376円)より分配対象額は10,351,687,866円(1万口当たり28,518円)です。分配は行っていません。

■お知らせ

投資対象とする投資信託証券におけるデリバティブ取引（法人税法第61条の5に規定するものをいいます。）の利用目的が実質的にヘッジ目的に限られることを明確化するため、2023年12月23日付で「運用の基本方針」の投資態度の変更を行いました。

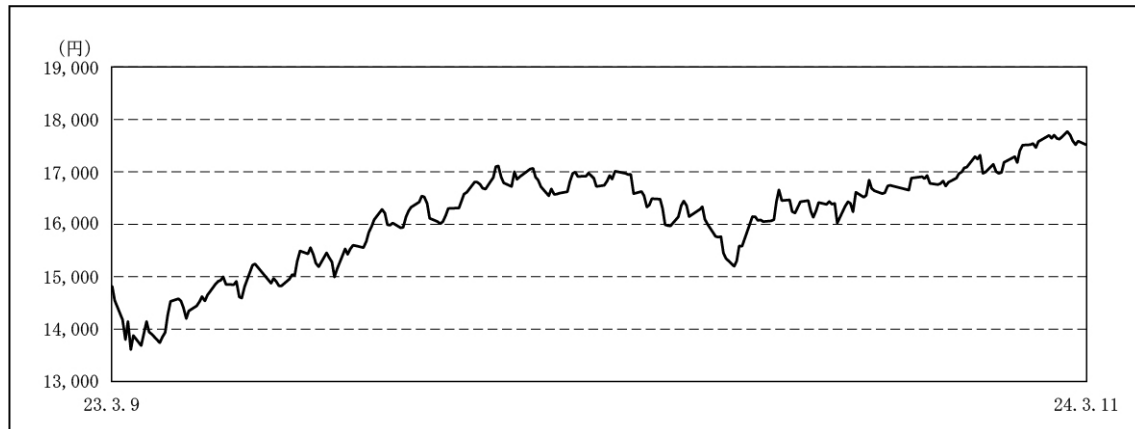
■組入投資信託証券の運用内容

当期末時点の組入投資信託証券（組入ファンド）について、当運用報告書（全体版）作成時点において入手可能な直近計算期間に関する情報を記載しています。

1 《ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド 2007（適格機関投資家専用）》

決算日：2024年3月11日 計算期間：2023年3月10日～2024年3月11日

◎基準価額の推移（2023年3月9日～2024年3月11日）



(注) 期間末日の基準価額は、当該計算期間の分配金込みで表示しています。

◎ 1 万口当たりの費用明細 (2023年 3 月 10 日～2024年 3 月 11 日)

項目	金額 (円)	比率 (%)	項目の概要
(a) 信託報酬 (委託会社) (販売会社) (受託会社)	233 (179) (39) (14)	1.438 (1.106) (0.243) (0.088)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式)	4 (4)	0.024 (0.024)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株 式)	4 (4)	0.027 (0.027)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	6 (5) (1) (0)	0.037 (0.032) (0.005) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・ 資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 信託事務の処理等に関するその他の費用
合計	247	1.526	
期中の平均基準価額は、16,213円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当組入ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当組入ファンドに対応するものを含みます。

(注3) 金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。

(注4) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用の金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第4位四捨五入で表示しています。

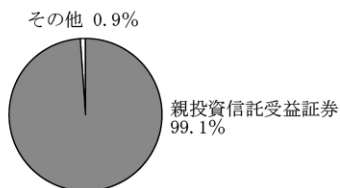
◎組入資産の明細 (2024年3月11日現在)

親投資信託残高

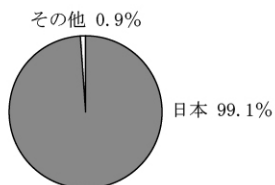
銘柄名	期首 (前期末)	当期末	
	口数(千口)	口数(千口)	評価額(千円)
ALAMCO ハリス グローバル バリュース マザーファンド	572,730	568,293	2,296,473

(注) 口数、評価額は、単位未満切捨てで表示しています。

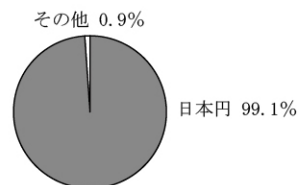
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 比率は、当組入ファンドの純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

(注2) その他は、コール・ローン等、その他の資産(負債控除後)です。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況
(2024年3月11日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,527,168,214円
コール・ローン等	230,694,476
ALAMCO ハリス グローバル バリューストックファンド (評価額)	2,296,473,738
(B) 負 債	210,470,385
未払収益分配金	193,445,250
未払信託報酬	16,959,283
未払利息	682
その他未払費用	65,170
(C) 純資産総額 (A - B)	2,316,697,829
元 本	1,432,927,783
次期繰越損益金	883,770,046
(D) 受益権総口数	1,432,927,783口
1万口当たり基準価額 (C/D)	16,168円

(注) 期首元本額	1,314,900,041円
期中追加設定元本額	118,027,742円
期中一部解約元本額	0円

◎損益の状況
(2023年3月10日～2024年3月11日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△18,749円
支 払 利 息	△18,749
(B) 有価証券売買損益	420,357,300
売 買 益	420,357,300
(C) 信 託 報 酬 等	△33,357,841
(D) 当期損益金 (A+B+C)	386,980,710
(E) 前期繰越損益金	428,684,885
(F) 追加信託差損益金	261,549,701
(配当等相当額)	(546,260,482)
(売買損益相当額)	(△284,710,781)
(G) 計 (D + E + F)	1,077,215,296
(H) 収 益 分 配 金	△193,445,250
次期繰越損益金 (G+H)	883,770,046
追加信託差損益金	261,549,701
(配当等相当額)	(546,428,051)
(売買損益相当額)	(△284,878,350)
分配準備積立金	622,220,345

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用指図にかかる権限の一部を委託するために要した費用として、当組入ファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対して年1万分の65の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。

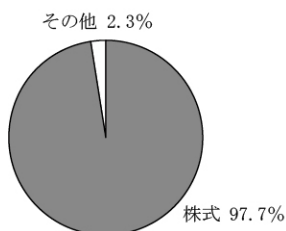
(注5) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(37,442,248円)、費用控除後の有価証券等損益額(349,538,462円)、信託約款に規定する収益調整金(546,428,051円)および分配準備積立金(428,684,885円)より分配対象収益は1,362,093,646円(1万口当たり9,505円)であり、うち193,445,250円(1万口当たり1,350円)を分配金額としています。

◎ALAMCO ハリス グローバル バリューストックマザーファンド 組入状況 (2024年3月11日現在)

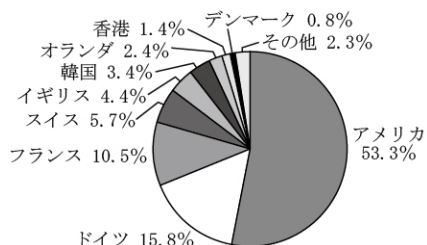
組入上位10銘柄

	種別	銘柄名	業種等	国	通貨	組入比率 (%)
1	株式	IQVIA HOLDINGS INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカ	米ドル	4.3
2	株式	BNP PARIBAS	銀行	フランス	ユーロ	4.0
3	株式	MERCEDES-BENZ GROUP AG	自動車・自動車部品	ドイツ	ユーロ	3.9
4	株式	FISERV INC	金融サービス	アメリカ	米ドル	3.7
5	株式	CNH INDUSTRIAL NV	資本財	アメリカ	米ドル	3.6
6	株式	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	アメリカ	米ドル	3.4
7	株式	BANK OF AMERICA CORP	銀行	アメリカ	米ドル	3.3
8	株式	KERING SA	耐久消費財・アパレル	フランス	ユーロ	3.1
9	株式	CAPITAL ONE FINANCIAL CORP	金融サービス	アメリカ	米ドル	3.1
10	株式	INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC	金融サービス	アメリカ	米ドル	3.1
組入銘柄数				46銘柄		

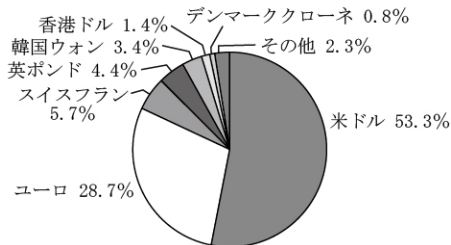
【資産別配分】



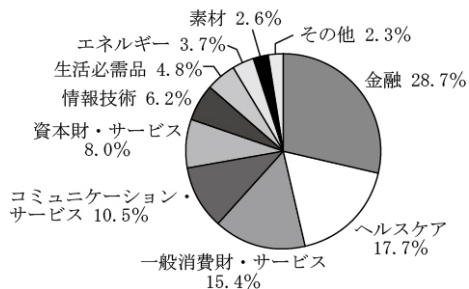
【国別配分】



【通貨別配分】



【業種別配分】



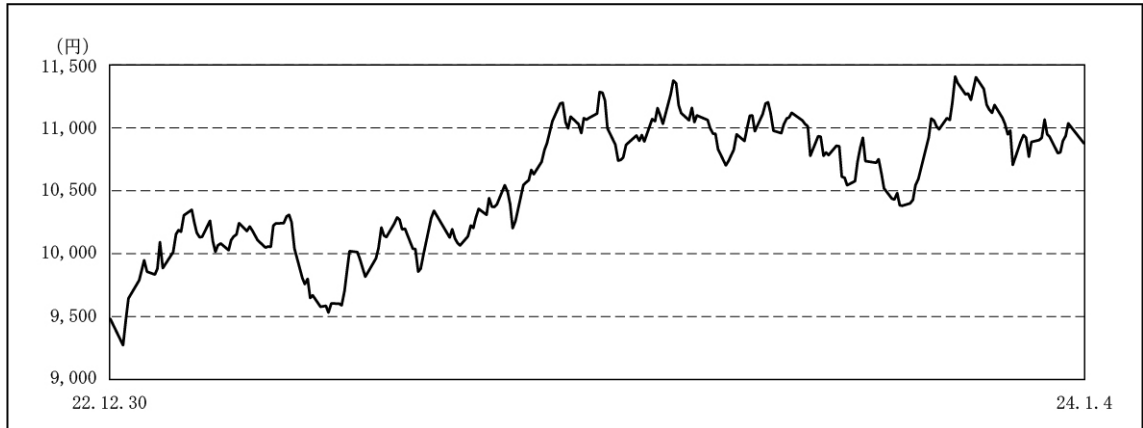
(注1) 比率は、当親投資信託の純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

(注2) その他は、コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。

2 《コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド 95（適格機関投資家限定）》

決算日：2024年1月4日 計算期間：2022年12月31日～2024年1月4日

◎基準価額の推移（2022年12月30日～2024年1月4日）



◎ 1 万口当たりの費用明細 (2022年12月31日～2024年 1 月 4 日)

項目	金額 (円)	比率 (%)	項目の概要
(a) 信託報酬 (委託会社) (販売会社) (受託会社)	112 (71) (35) (6)	1.059 (0.669) (0.335) (0.056)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式)	4 (4)	0.038 (0.038)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株 式)	4 (4)	0.041 (0.041)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	34 (17) (3) (14)	0.322 (0.160) (0.024) (0.137)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 グローバルな取引主体識別子 (LEI : Legal Entity Identifier) 登録費用、金銭信託手数料、外国株式に関する各種手数料等 (ADR手数料や税務代理人費用等)、インド株式におけるキャピタルゲイン課税、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合計	154	1.460	
期中の平均基準価額は、10,538円です。			

(注1) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は、当組入ファンドの期末の税率を採用しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当組入ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当組入ファンドに対応するものです。

(注4) 金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。

(注5) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用の金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第4位四捨五入で表示しています。

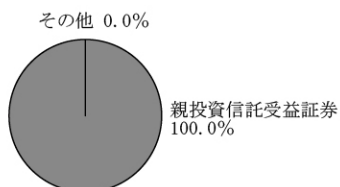
◎組入資産の明細 (2024年 1月 4日現在)

親投資信託残高

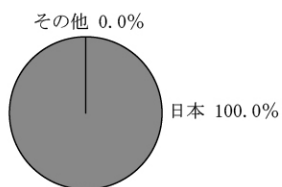
銘柄名	期首 (前期末)	当期末	
	口数 (千口)	口数 (千口)	評価額 (千円)
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド	1,066,906	1,066,032	2,367,124

(注) 口数、評価額は、単位未満切捨てで表示しています。

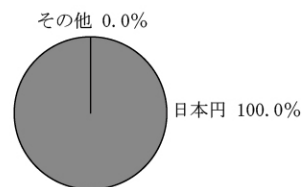
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 比率は、当組入ファンドの純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

(注2) その他は、コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況
(2024年1月4日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,380,434,749円
コール・ローン等	13,309,872
ニッポンコムジェスト・エマーシング マーケット マザーファンド (評価額)	2,367,124,877
(B) 負 債	13,179,793
未払信託報酬	12,904,753
未払利息	40
その他未払費用	275,000
(C) 純資産総額 (A - B)	2,367,254,956
元 本	2,176,330,476
次期繰越損益金	190,924,480
(D) 受益権総口数	2,176,330,476口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,877円

(注1) 期首元本額 2,154,561,119円
 期中追加設定元本額 53,236,270円
 期中一部解約元本額 31,466,913円
 (注2) 1口当たり純資産額 1.0877円

◎損益の状況
(2022年12月31日～2024年1月4日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△4,692円
支 払 利 息	△4,692
(B) 有価証券売買損益	323,033,424
売 買 損 益	327,115,226
売 買 損 益	△4,081,802
(C) 信 託 報 酬 等	△24,999,157
(D) 当期損益金 (A+B+C)	298,029,575
(E) 前期繰越損益金	△16,068,958
(F) 追加信託差損益金	△91,036,137
(配当等相当額)	(32,395,140)
(売買損益相当額)	(△123,431,277)
(G) 計 (D + E + F)	190,924,480
(H) 収 益 分 配 金	0
次期繰越損益金 (G+H)	190,924,480
追加信託差損益金	△91,036,137
(配当等相当額)	(32,518,515)
(売買損益相当額)	(△123,554,652)
分配準備積立金	373,466,092
繰 越 損 益 金	△91,505,475

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(56,091,288円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(32,518,515円)および分配準備積立金(317,374,804円)より分配対象収益は405,984,607円(1万口当たり1,865円)ですが、当期に分配した金額はありません。

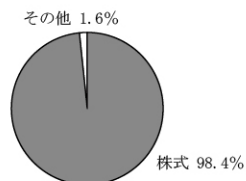
(注5) 当組入ファンドが主要投資対象としています。ニッポンコムジェスト・エマーシングマーケット マザーファンドは、外貨建資産の運用の指図権限をComgest SAに委託しています。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っています。

◎ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド 組入状況 (2023年12月25日現在)

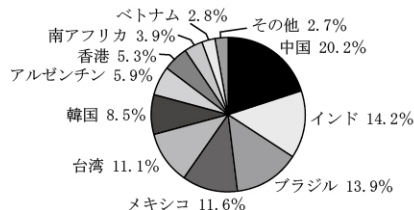
組入上位10銘柄

	種別	銘柄名	業種等	国	通貨	組入比率 (%)
1	株式	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	半導体・半導体製造装置	台湾	米ドル	6.4
2	株式	FOMENTO ECONOMICO MEXICANO	食品・飲料・タバコ	メキシコ	メキシコペソ	6.3
3	株式	SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	韓国	韓国ウォン	5.6
4	株式	MERCADOLIBRE INC	一般消費財・サービス流通・小売り	アルゼンチン	米ドル	4.9
5	株式	HDFC BANK LIMITED	銀行	インド	インドルピー	4.9
6	株式	DELTA ELECTRONICS INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	台湾	台湾ドル	4.7
7	株式	Wal Mart de Mexico SAB de CV	生活必需品流通・小売り	メキシコ	メキシコペソ	4.3
8	株式	INNER MONGOLIA YILI INDUSTRIAL GROUP CO.	食品・飲料・タバコ	中国	中国元	3.8
9	株式	LOCALIZA RENT A CAR	運輸	ブラジル	ブラジルリアル	3.7
10	株式	MARUTI SUZUKI INDIA LIMITED	自動車・自動車部品	インド	インドルピー	3.7
組入銘柄数						37銘柄

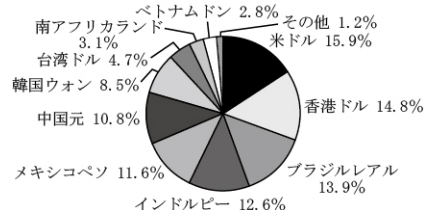
【資産別配分】



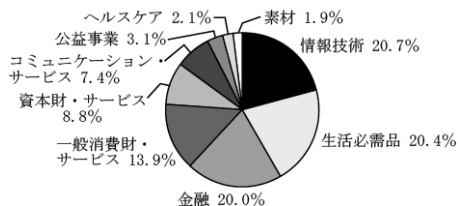
【国別配分】



【通貨別配分】



【業種別配分】



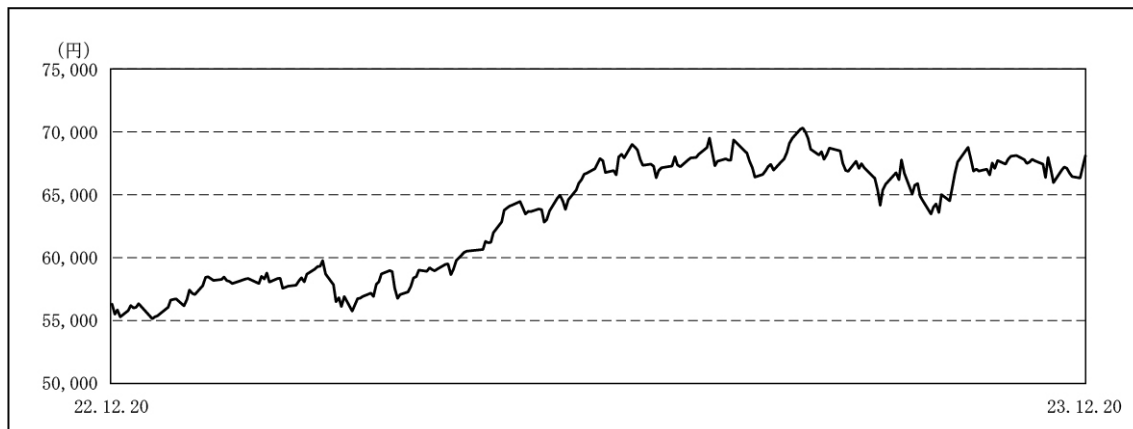
(注1) 比率は、当親投資信託の純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

(注2) 資産別配分のその他は、コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。

3 《スパークス・集中投資・日本株ファンドS〈適格機関投資家限定〉》

決算日：2023年12月20日 計算期間：2022年12月21日～2023年12月20日

◎基準価額の推移（2022年12月20日～2023年12月20日）



◎1万口当たりの費用明細（2022年12月21日～2023年12月20日）

項目	金額 (円)	比率 (%)	項目の概要
(a) 信託報酬 (委託会社) (販売会社) (受託会社)	522 (463) (35) (24)	0.82 (0.73) (0.06) (0.04)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (株式)	26 (26)	0.04 (0.04)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等を売買する際に発生する費用
(c) その他費用 (監査費用)	3 (3)	0.01 (0.01)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	551	0.87	
期中の平均基準価額は、63,354円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 売買委託手数料およびその他費用は、当組入ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当組入ファンドに対応するものを含まず。

(注3) 金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。

(注4) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用の金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位四捨五入で表示しています。

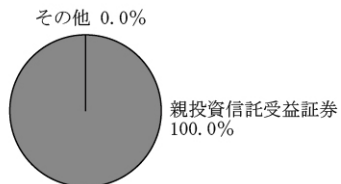
◎組入資産の明細 (2023年12月20日現在)

親投資信託残高

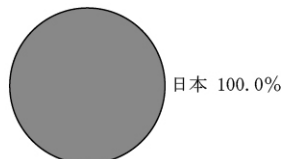
銘柄名	期首 (前期末)	当期末	
	口数 (千口)	口数 (千口)	評価額 (千円)
スパークス集中投資戦略マザーファンド	1,134,880	1,225,300	9,743,469

(注) 口数、評価額は、単位未満切捨てで表示しています。

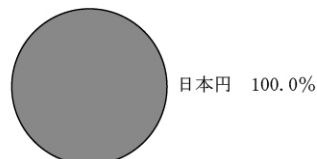
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 比率は、当組入ファンドの純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

(注2) その他は、コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況
(2023年12月20日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	9,812,640,207円
コール・ローン等	69,170,283
スパークス集中投資戦略 マザーファンド(評価額)	9,743,469,924
(B) 負 債	65,069,768
未払信託報酬	64,694,769
未払利息	189
その他未払費用	374,810
(C) 純資産総額(A-B)	9,747,570,439
元 本	1,431,000,491
次期繰越損益金	8,316,569,948
(D) 受益権総口数	1,431,000,491口
1万口当たり基準価額(C/D)	68,117円

(注) 期首元本額 1,315,755,124円
 期中追加設定元本額 115,245,367円
 期中一部解約元本額 -円

◎損益の状況
(2022年12月21日～2023年12月20日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△27,247円
支 払 利 息	△27,247
(B) 有価証券売買損益	1,706,989,771
売 買 益	1,706,989,771
(C) 信託報酬等	△65,069,832
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,641,892,692
(E) 前期繰越損益金	2,238,781,054
(F) 追加信託差損益金	4,435,896,202
(配当等相当額)	(4,550,750,744)
(売買損益相当額)	(△114,854,542)
(G) 合 計 (D + E + F)	8,316,569,948
(H) 収 益 分 配 金	0
次期繰越損益金(G+H)	8,316,569,948
追加信託差損益金	4,435,896,202
(配当等相当額)	(4,550,750,744)
(売買損益相当額)	(△114,854,542)
分配準備積立金	3,880,700,993
繰 越 損 益 金	△27,247

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

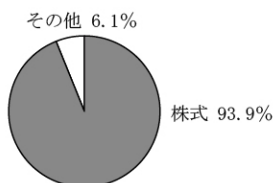
(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

◎スパークス集中投資戦略マザーファンド 組入状況 (2023年12月20日現在)

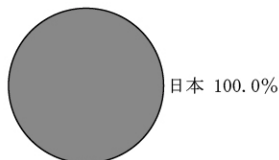
組入上位10銘柄

	種別	銘柄名	業種	国	通貨	組入比率 (%)
1	株式	MARUWA	ガラス・土石製品	日本	日本円	9.2
2	株式	京成電鉄	陸運業	日本	日本円	6.0
3	株式	マックス	機械	日本	日本円	6.0
4	株式	東洋炭素	ガラス・土石製品	日本	日本円	5.7
5	株式	ライフドリンク カンパニー	食料品	日本	日本円	5.0
6	株式	トーセイ	不動産業	日本	日本円	4.7
7	株式	メック	化学	日本	日本円	4.3
8	株式	サイゼリヤ	小売業	日本	日本円	3.2
9	株式	全国保証	その他金融業	日本	日本円	3.1
10	株式	ニチハ	ガラス・土石製品	日本	日本円	3.1
組入銘柄数				32銘柄		

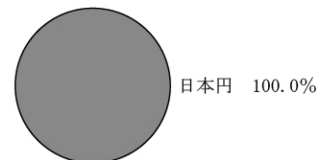
【資産別配分】



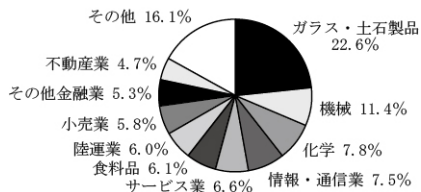
【国別配分】



【通貨別配分】



【業種別配分】



(注1) 比率は、当親投資信託の純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

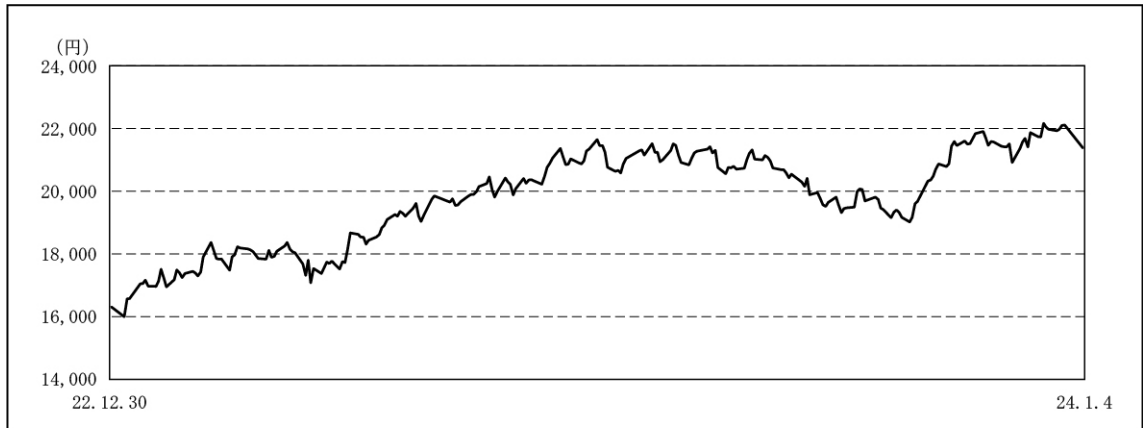
(注2) 資産別配分のその他は、コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。

(注3) 業種別配分のその他は、組入上位10業種以外の業種およびコール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。

4 《コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド 90 (適格機関投資家限定)》

決算日：2024年1月4日 計算期間：2022年12月31日～2024年1月4日

◎基準価額の推移 (2022年12月30日～2024年1月4日)



◎ 1 万口当たりの費用明細 (2022年12月31日～2024年 1 月 4 日)

項目	金額 (円)	比率 (%)	項目の概要
(a) 信託報酬 (委託会社) (販売会社) (受託会社)	198 (125) (62) (11)	1.004 (0.636) (0.312) (0.056)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式)	1 (1)	0.007 (0.007)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株 式)	4 (4)	0.020 (0.020)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	11 (7) (4) (0)	0.057 (0.036) (0.021) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 グローバルな取引主体識別子 (LEI : Legal Entity Identifier) 登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合計	214	1.088	
期中の平均基準価額は、19,717円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は、当組入ファンドの期末の税率を採用しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当組入ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当組入ファンドに対応するものです。

(注4) 金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。

(注5) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用の金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第4位四捨五入で表示しています。

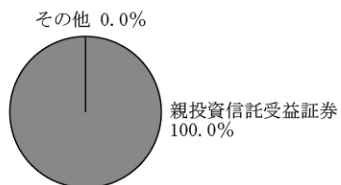
◎組入資産の明細（2024年1月4日現在）

親投資信託残高

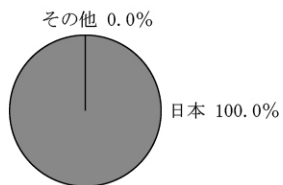
銘柄名	期首 (前期末)	当期末	
	口数(千口)	口数(千口)	評価額(千円)
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザー ファンド	533,441	513,959	2,748,603

(注) 口数、評価額は、単位未満切捨てで表示しています。

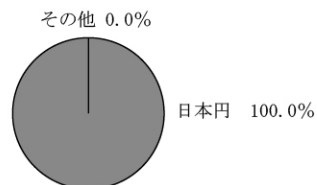
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 比率は、当組入ファンドの純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

(注2) その他は、コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況
(2024年1月4日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,763,537,915円
コール・ローン等	14,934,248
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド(評価額)	2,748,603,667
(B) 負 債	14,777,622
未払信託報酬	14,502,577
未払利息	45
その他未払費用	275,000
(C) 純資産総額(A-B)	2,748,760,293
元 本	1,285,924,570
次期繰越損益金	1,462,835,723
(D) 受益権総口数	1,285,924,570口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,376円

(注1) 期首元本額	1,319,782,405円
期中追加設定元本額	156,896,887円
期中一部解約元本額	190,754,722円
(注2) 1口当たり純資産額	2.1376円

◎損益の状況
(2022年12月31日～2024年1月4日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△4,692円
支 払 利 息	△4,692
(B) 有価証券売買損益	630,843,866
売 買 損 益	691,724,961
売 買 損	△60,881,095
(C) 信 託 報 酬 等	△27,553,215
(D) 当期損益金(A+B+C)	603,285,959
(E) 前期繰越損益金	485,476,046
(F) 追加信託差損益金	374,073,718
(配当等相当額)	(313,360,425)
(売買損益相当額)	(60,713,293)
(G) 計 (D + E + F)	1,462,835,723
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	1,462,835,723
追加信託差損益金	374,073,718
(配当等相当額)	(313,544,139)
(売買損益相当額)	(60,529,579)
分配準備積立金	1,088,762,005

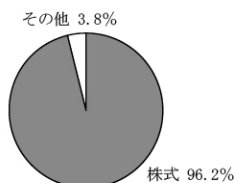
- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価替えによるものを含みます。
- (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(26,105,364円)、費用控除後の有価証券等損益額(353,483,730円)、信託約款に規定する収益調整金(374,073,718円)および分配準備積立金(709,172,911円)より分配対象収益は1,462,835,723円(1万口当たり11,375円)ですが、当期に分配した金額はありません。
- (注5) 当組入ファンドが主要投資対象としています、ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンドは、外貨建資産の運用の指図権限をComgest SAに委託しています。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っています。

◎ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド 組入状況 (2023年12月25日現在)

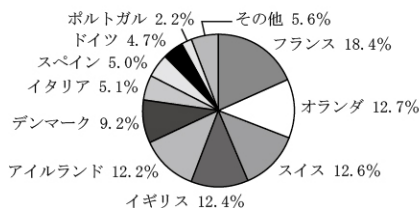
組入上位10銘柄

	種別	銘柄名	業種等	国	通貨	組入比率 (%)
1	株式	ASML HOLDING NV	半導体・半導体製造装置	オランダ	ユーロ	7.7
2	株式	NOVO NORDISK A/S-B	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	デンマーク	デンマーククローネ	7.6
3	株式	ACCENTURE PLC-CL A	ソフトウェア・サービス	アイルランド	米ドル	4.6
4	株式	ESSILORLUXOTTICA	ヘルスケア機器・サービス	フランス	ユーロ	4.6
5	株式	LINDE PLC	素材	イギリス	米ドル	4.5
6	株式	EXPERIAN PLC	商業・専門サービス	イギリス	英ポンド	4.0
7	株式	STRAUMANN HOLDING AG-REG	ヘルスケア機器・サービス	スイス	スイスフラン	4.0
8	株式	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	耐久消費財・アパレル	フランス	ユーロ	3.5
9	株式	ALCON INC	ヘルスケア機器・サービス	スイス	スイスフラン	3.5
10	株式	DASSAULT SYSTEMES SE	ソフトウェア・サービス	フランス	ユーロ	3.2
組入銘柄数				36銘柄		

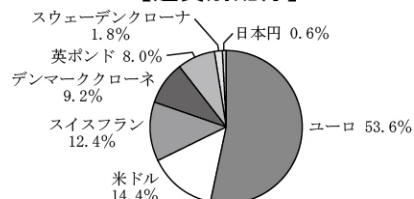
【資産別配分】



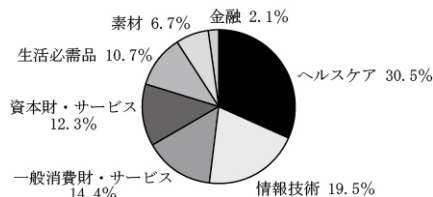
【国別配分】



【通貨別配分】



【業種別配分】



(注1) 比率は、当親投資信託の純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

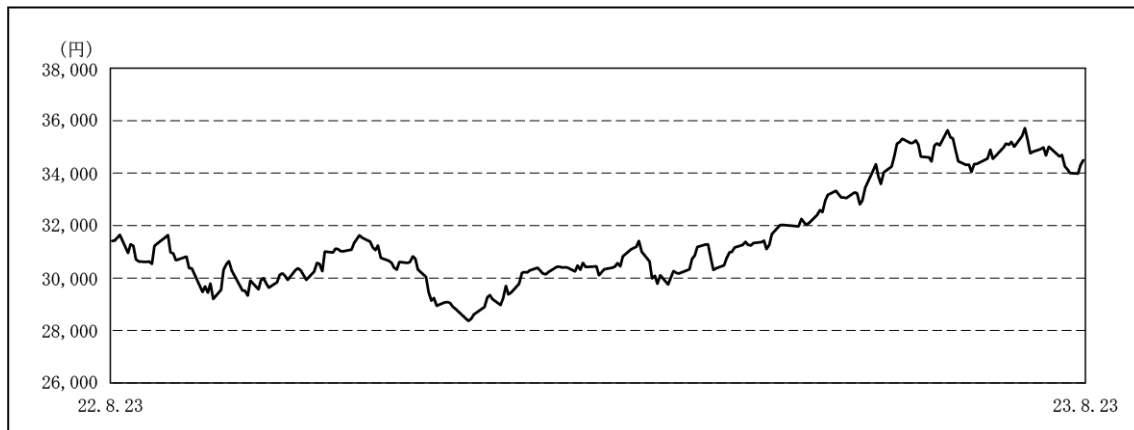
(注2) 資産別配分のその他は、コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）です。

(注3) 国別配分のその他は、ユーロ建ての現金、その他の資産等を含めて表示しています。

5 《さわかみファンド》

決算日：2023年8月23日 計算期間：2022年8月24日～2023年8月23日

◎基準価額の推移（2022年8月23日～2023年8月23日）



◎1万口当たりの費用明細（2022年8月24日～2023年8月23日）

項目	金額 (円)	比率 (%)	項目の概要
(a) 信託報酬 (委託会社) (販売会社) (受託会社)	348 (191) (122) (35)	1.100 (0.605) (0.385) (0.110)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式)	2 (2)	0.006 (0.006)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株 式)	0 (0)	0.001 (0.001)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (その他)	0 (0)	0.000 (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託事務の処理に要するその他諸費用
合計	350	1.107	
期中の平均基準価額は、31,596円です。			

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。

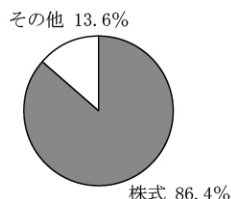
(注3) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用の金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第4位四捨五入で表示しています。

◎組入資産の明細 (2023年 8月23日現在)

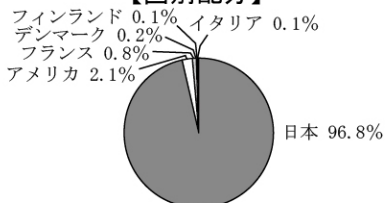
組入上位10銘柄

	種別	銘柄名	業種	国	通貨	組入比率 (%)
1	株式	信越化学工業	化学	日本	日本円	4.3
2	株式	ディスコ	機械	日本	日本円	4.0
3	株式	ダイキン工業	機械	日本	日本円	3.9
4	株式	浜松ホトニクス	電気機器	日本	日本円	3.4
5	株式	ブリヂストン	ゴム製品	日本	日本円	3.4
6	株式	トヨタ自動車	輸送用機器	日本	日本円	3.1
7	株式	テルモ	精密機器	日本	日本円	3.0
8	株式	ニデック	電気機器	日本	日本円	2.6
9	株式	INPEX	鉱業	日本	日本円	2.5
10	株式	花王	化学	日本	日本円	2.1
				組入銘柄数		128銘柄

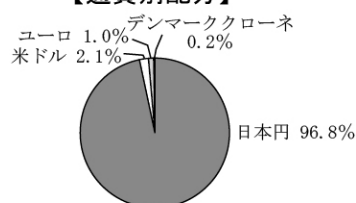
【資産別配分】



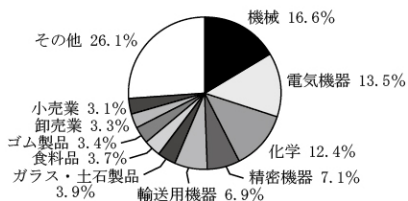
【国別配分】



【通貨別配分】



【業種別配分】



(注1) 組入上位10銘柄、資産別配分および業種別配分の比率は、当組入ファンドの純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。ただし、業種別配分のその他の比率は、全体から組入上位10業種の各比率の合計を差し引いたものです。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、当組入ファンドの組入有価証券の評価額の合計に対する各評価額の割合です。

(注3) 外国株式の業種は、当組入ファンドの委託会社の基準により、東証33業種に振り替えて表示しています。

(注4) 資産別配分のその他は、現金・預金・その他の資産（負債控除後）です。

(注5) 業種別配分のその他は、組入上位10業種以外の業種および現金・預金・その他の資産（負債控除後）です。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況
(2023年8月23日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	382,283,623,516円
コール・ローン等	52,449,024,859
株式(評価額)	329,059,850,952
未収配当金	774,747,705
(B) 負 債	1,320,374,439
未 払 金	153,224,746
未払解約金	109,725,974
未払信託報酬	1,057,423,719
(C) 純資産総額(A-B)	380,963,249,077
元 本	110,358,188,643
次期繰越損益金	270,605,060,434
(D) 受益権総口数	110,358,188,643口
1万口当たり基準価額(C/D)	34,521円

(注1) 期首元本額 111,373,747,088円
 期中追加設定元本額 4,771,209,535円
 期中一部解約元本額 5,786,767,980円
 (注2) 1口当たり純資産額 3.4521円

◎損益の状況
(2022年8月24日～2023年8月23日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	6,856,942,452円
受取配当金	6,840,772,359
受取利息	42,764,753
支払利息	△28,153,878
その他収益金	1,559,218
(B) 有価証券売買損益	31,059,324,386
売 買 益	47,791,753,588
売 買 損	△16,732,429,202
(C) 信 託 報 酬 等	△3,862,128,626
(D) 当期損益金(A+B+C)	34,054,138,212
(E) 前期繰越損益金	147,682,017,595
(F) 追加信託差損益金	88,868,904,627
(配当等相当額)	(114,929,414,431)
(売買損益相当額)	(△26,060,509,804)
(G) 合 計 (D + E + F)	270,605,060,434
(H) 収 益 分 配 金	0
次期繰越損益金(G+H)	270,605,060,434
追加信託差損益金	88,868,904,627
(配当等相当額)	(114,929,414,431)
(売買損益相当額)	(△26,060,509,804)
分配準備積立金	181,736,155,807
繰越損益金	0

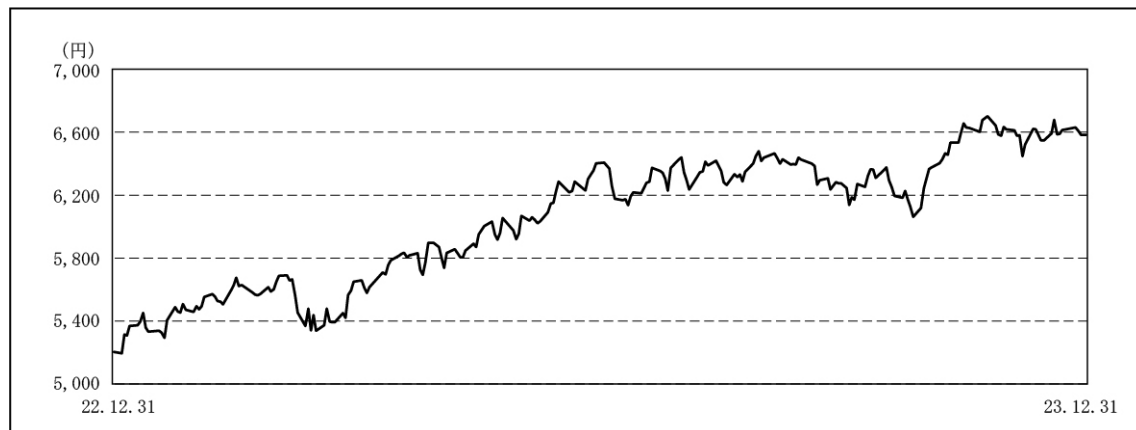
(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価替えによるものを含みます。
 (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税相当額を含めて表示しています。
 (注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注4) 期末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(6,158,669,596円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(27,895,468,616円)、信託約款に規定される収益調整金(114,929,414,431円)および分配準備積立金(147,682,017,595円)より分配対象額は296,665,570,238円(1万口当たり26,882円)です。分配は行っていません。

6 《キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド（LUX）クラスZ》

決算日：2023年12月31日 計算期間：2023年1月1日～2023年12月31日

※当組入ファンドにかかる各内容（基準価額の推移を除く）は、キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド（LUX）全体のものです。

◎基準価額の推移（2022年12月31日～2023年12月31日）

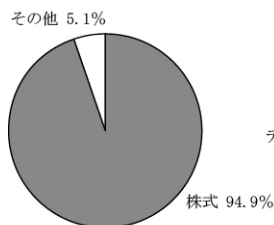


◎組入資産の明細（2023年12月31日現在）

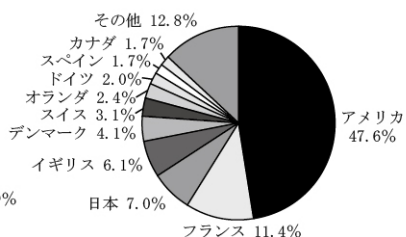
主たる投資対象の組入上位10銘柄

	種別	銘柄名	業種等	国	通貨	組入比率 (%)
1	株式	Novo Nordisk A/S 'B'	ヘルスケア	デンマーク	デンマーククローネ	2.9
2	株式	Broadcom, Inc.	情報技術	アメリカ	米ドル	2.7
3	株式	Microsoft Corp.	情報技術	アメリカ	米ドル	2.7
4	株式	Alphabet, Inc. 'A'、'C'	コミュニケーション・サービス	アメリカ	米ドル	2.3
5	株式	Apple, Inc.	情報技術	アメリカ	米ドル	2.0
6	株式	Safran SA	資本財・サービス	フランス	ユーロ	1.9
7	株式	ASML Holding NV	情報技術	オランダ	ユーロ	1.8
8	株式	AstraZeneca plc	ヘルスケア	イギリス	英ポンド	1.7
9	株式	TotalEnergies SE	エネルギー	フランス	ユーロ	1.5
10	株式	SAP SE	情報技術	ドイツ	ユーロ	1.3
				組入銘柄数		189銘柄

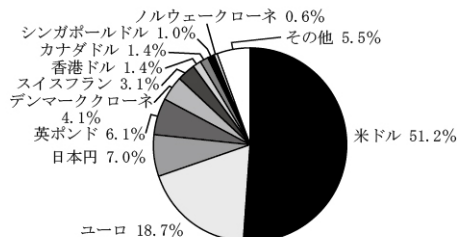
【資産別配分】



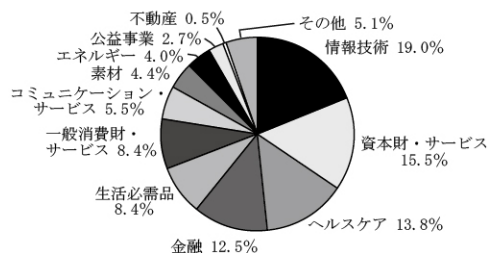
【国別配分】



【通貨別配分】



【業種別配分】



(注1) 比率は、純資産総額に対する各評価額の割合です。

(注2) 同一会社の株式は、それぞれまとめて1銘柄として組入比率および組入銘柄数を表示しています。

(注3) 現金、その他の資産等（主たる投資対象以外の資産を含む）は、その他に含めて表示しています。

◎資産、負債および純資産の状況 (2023年12月31日現在)

(米ドル)

Assets	
Investments at market value	711,970,541
Cash at bank and broker	20,507,395
Dividend and interest receivable (net of withholding taxes)	470,424
Unrealised gain on forward and hedged share class forward currency exchange contracts	472,190
Receivable for fund share subscribed	42,405
Prepaid expenses and other receivables	253,264
Receivable for investments sold	38,137
Total assets	733,754,356
Liabilities	
Unrealised loss on forward and hedged share class forward currency exchange contracts	5,046
Payable for fund shares redeemed	194,139
Accrued expenses and other payables	744,994
Management fee payable	131,959
Dividend payable to shareholders	6,018
Total liabilities	1,082,156
Total net assets	732,672,200
Investment securities at cost	545,688,431

◎損益の状況 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(米ドル)

Income	
Dividend income (net of withholding taxes)	13,602,070
Other income	214,498
Securities lending income	49,463
Interest on bank accounts	2,597,563
	16,463,594
Expenses	
Management fees	2,262,996
Administrative Manager services	384,439
Taxe d'abonnement	195,554
Professional services	339,790
Depository and custody	164,516
Other	68,824
Printing and publishing	46,843
Overdraft interest	6,702
	3,469,664
Reimbursement of expenses	63,767
Net investment income/(loss) for the year (a)	13,057,697
Net realised gain/(loss) on:	
Sale of investments	62,511,110
Foreign currency transaction	(2,110,074)
Net realised gain/(loss) for the year (b)	60,401,036
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:	
Investments	59,062,159
Foreign currency transactions	17,700
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) for the year (c)	59,079,859
Result of operations for the year (a+b+c)	132,538,592
Dividend distributions	(1,346,881)
Net subscriptions/(redemptions) of shares for the year	(250,643,549)
Total net assets at the beginning of the year	852,124,038
Total net assets at the end of the period	732,672,200

■直接販売の状況

2024年1月から始まった新NISA制度は、弊社がお勧めしている長期つみたて“ほったらかし”による「生涯投資」に適した制度内容に一新され、弊社でも当期より対応することとしました。

その効果もあり、当期の新規取引口座開設数は136件と前期比で58件の増加となりましたが、NISAは1つの金融機関からしか購入できないことから、利用する金融機関を集約する動きも起こり、取引口座閉鎖数も126件（前期比+54件）と大きく増加しました。結果、当期末（2024年9月30日）の全取引口座数は前期末比+10件（0.3%）の3,747件と僅かな増加に留まりました。NISA口座は、残存取引口座の17.1%にあたる641件で開設されています。取引口座閉鎖数は増加しましたが、引き続き閉鎖されずに継続している割合（継続率）は、ファンド設定から当期末までに開設いただいた全ての取引口座で83.1%と高水準を維持しており、第1期（～2009年9月30日）に開設いただいた取引口座でも83.6%と非常に高い継続率となっています。

「定期定額購入サービス」のご利用も全体の69.8%にあたる2,616件（前期末比△94件）と、初めて利用率が70%を下回りましたが、引き続き高い水準を保っています。弊社の特徴であり、強みでもある、定期定額購入サービスを利用して長期で投資されるお客さまの比率が極めて高いことは変わっていません。

多くのお客様が「つみたて投資」を継続してくださったことにより、定期定額購入による入金額は月度平均で7,926万円（前期比+0.4%）、年間で9億5,121万円と設定来15期連続の増加となっています。増加した取引口座閉鎖による解約に加えて、課税口座からNISA口座への買い直しのための解約も発生したことから、年間の資金流出（解約）額は8億2,177万円と前期比+11.8%（8,651万円）の大幅増となりましたが、NISA口座での買い直しと7月後半以降の下落局面での「追加買い」により、年間の資金流入（買付）の総額も11億6,345万円と前期比+8.8%（9,442万円）の増加となりました。これにより、資金流出（解約）額を差し引いたネットの金額は+3億4,168万円（前期比+2.4%）と、設定来16期連続で純流入を達成することができました。月次ベースでは、3月のみ純流出となりましたが、それ以外の11ヶ月は月度資金純流入となっています。

当期中、5月20日には純資産総額が140億円を突破し、7月5日には基準価額が40,000円を超えました。その後の株価下落により、当期末の基準価額は前期末比+14.1%の38,518円、純資産総額は前期末比+17.1%の139億8,152万円となりましたが、弊社の経営理念や運用哲学にご賛同いただいた多くの皆様によってユニオンファンドは着実に育てられています。

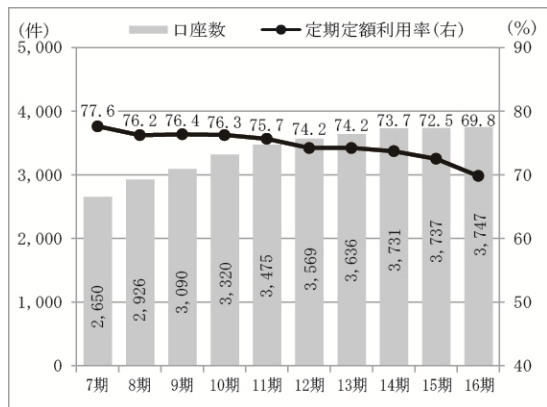
弊社は、働く仲間とその家族の方々の財産づくりのお手伝いをさせていただくべく設立された資産運用会社です。主にセミナーや個別相談等お客様と直接接点を持ちながら、「生涯投資」・「グローバル投資」・「つみたて投資」の有効性や魅力、そして「これからの明るい未来のために自らの意志で自らのお金を世の中に活かすこと」の大切さをご説明しています。

ユニオンファンドの成長が皆様それぞれの自分らしい人生を過ごすための生涯資産づくりに活かされていくWin-Winの関係を築くことができるのであれば、これほど幸せなことはありません。

これからも、ユニオンファンドは皆様の“生涯投資の道”の頼もしいパートナーであるべく、丁寧に丁寧に運用して参る所存です。

（注）各金額は単位未満切捨てで、比率は小数第2位四捨五入で表示しています。

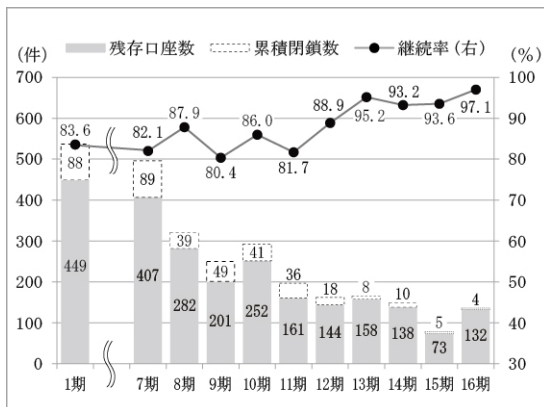
各期末現在の残存口座数および定期定額購入利用率



(注) 利用率は、小数第2位四捨五入で表示しています。

決算期別口座開設数および継続率

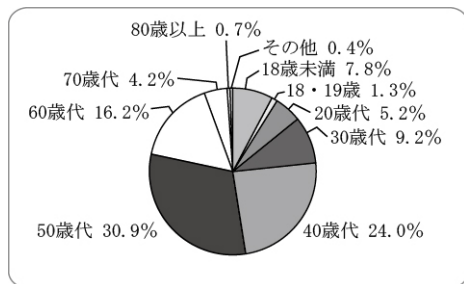
(2024年9月30日現在)



(注) 継続率は、小数第2位四捨五入で表示しています。

年代別口座比率

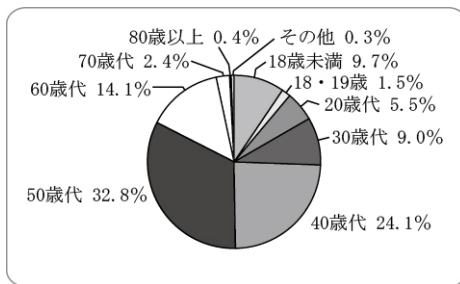
(2024年9月30日現在 総数3,747件)



(注) 比率は、全口座数に対する各年代の口座数の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

年代別定期定額購入利用者比率

(2024年9月30日現在 総数2,616件)



(注) 比率は、全利用者数に対する各年代の利用者数の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

年代別定期定額購入1回当たりの平均引落額 (2024年9月30日現在)

年代別引落額平均 (月次) (単位:円)					
18歳未満	14,394	30歳代	24,177	60歳代	33,865
18・19歳	16,884	40歳代	29,649	70歳代	28,411
20歳代	17,890	50歳代	35,253	80歳以上	28,181

(注) 1回当たりの平均引落額は、次の式で算出し、円未満切捨てで表示しています。

(当該年代の毎月の契約金額の合計×12÷当該年代の増額月の契約金額の合計) ÷ 12 ÷ 当該年代の利用者数